

平成25年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	北大西洋条約機構（NATO）信託基金拠出金（任意拠出金）		担当部局庁	欧州局		作成責任者		
事業開始・終了（予定）年度	平成19年度開始		担当課室	政策課		課長 倉光 秀彰		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅶ-2 国際機関等を通じた経済及び社会分野に係る国際貢献／Ⅵ-2 国際機関等を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 （具体的な条項も記載）	外務省設置法第四条第三項		関係する計画、通知等	NATO事務局又はリード国からの要請				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	NATOが中央アジア・コーカサス地域等において実施している小型武器廃棄、武器弾薬管理、対人地雷廃棄等の事業やアフガニスタンにおいて実施しているアフガニスタン治安部隊支援に関する事業への拠出を行うことにより、中央アジア・コーカサス地域やアフガニスタンの平和及び安定に寄与するとともに、NATO及び関係諸国との関係強化を図る。							
事業概要 （5行程度以内。別添可）	NATOは、信託基金の枠組みを利用して、中央アジア・コーカサス地域等において、小型武器廃棄、武器弾薬管理、対人地雷廃棄等の事業を実施し、紛争予防、テロリストへの武器等の流出防止、地域の安定化及び平和の構築のための事業を実施しているほか、アフガニスタンにおいて、同国の治安維持を担うアフガニスタン治安部隊を強化するための事業を実施し、国際社会全体の課題であるアフガニスタンの治安の改善に貢献している。我が国は、中央アジア・コーカサス地域及びアフガニスタンにおける平和構築事業に高い実績及び経験を有するNATO及び関係諸国と緊密に連携することにより、我が国単独では支援困難な分野において貢献を行うことが可能となっている。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・執行額 （単位：百万円）			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	11	10	8	6		
		補正予算	2,237	1,780	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	2,248	1,790	8	6		
	執行額		2,248	1,790	8			
	執行率（％）		100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 （アウトカム）	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 （25年度）
	【成果目標】 ①22年度当初：爆発物処理訓練、②22年度補正：ワクチン購入、③23年度当初：爆発物処理訓練、④23年度補正：識字プログラム、⑤24年度当初：不発弾処理・武器弾薬管理能力強化 【成果実績】 ①22年度当初：訓練コース受講者数、②22年度補正：ワクチン購入額（円）、③23年度当初：訓練コース受講者数、④23年度補正：識字プログラム受講者数 （※1）新業者との契約交渉中であるため「—」と記載した。 （※2）平成25年度の拠出案件については検討中。 （※3）ホスト国と事業開始に向け調整中であるため「—」と記載した。		成果実績		①66 ②2,237	③66 ④—（※1）	⑤—（※3）	（※2）
			達成度	％	①100% ②100%	③100% ④—（※1）	⑤—（※3）	
活動指標及び活動実績 （アウトプット）	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	NATO信託基金への拠出		活動実績 （当初見込み）	事業数	2	2	1	（※2） （ ）（ ）（ ）
単位当たりコスト	8,092,000円（円／1事業あたり）		算出根拠	平成24年度拠出額合計／事業数合計				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	事業費		6					
	計		6					

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	NATO信託基金のもとで実施されている平和構築に関する事業（不発弾の処理チームの育成等）は、民間等の資金で実施することは困難。また、平和構築は我が国が重視する国際貢献の分野であり、優先度が高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	NATOが実施する複数の事業の中から、我が国の外交政策に合致し、かつ、我が国支援のレジリエンスを確保できる事業を選定して拠出を行っている。また、NATO側から定期的に事業報告書を受領し、事業の進捗状況等を確認している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	NATO信託基金への拠出により、我が国が事業を実施することが困難な地域や単独では実施困難な規模の大きな事業を行うことが可能となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	我が国のレジリエンスを高めるため、我が国が拠出したプロジェクトに関する広報をプロジェクトの実施地等において、より一層積極的に行っていく必要がある。また、我が国の外交政策に合致し、かつ、我が国の支援による成果物が十分活用される案件を選定するよう引き続き十分留意する。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0143	平成23年	89	平成24年	111